

平成30年度入学試験問題(推薦入試Ⅰ)

## 小論文

農学部 地域農業工学科

### 注意事項

1. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答用紙の他に、下書き用紙を配布するので、取り違えないよう注意すること。
4. 解答時間は、90分である。
5. 横書き、鉛筆(シャープペンシルを含む)書きにすること。

## 問題

世界の食料需給は、人口の増加や開発途上国の経済発展による所得向上に伴う畜産物等の需要増加に加え、バイオ燃料の需要増加、異常気象の頻発等の様々な要因によって、中長期的な逼迫が懸念されている。このような状況の中で、農業・農村は、国民に食料を安定供給するとともに、国土の保全や水源の涵養等多面的な機能の発揮の場であり、バイオマス、水、土地等の資源が豊富に存在しており、農業・農村の価値等が再認識されている。

世界の食料需給の動向、我が国の農業生産の現状、農業・農村の可能性を示すものとして、「世界人口の見通し」、「我が国の農業総産出額・生産農業所得の推移」、「農山漁村地域への移住希望」が図-1～図-3に挙げられている。これらの図を参考に、今後の我が国の強い農業の創造と地域創生に向けて、これからの食料・農業・環境・エネルギーに関わる課題について地域農業工学科で学ぶことにより、どのように課題解決に役立てることができるか。あなたの考えを800字以上、1000字以内で述べなさい。

非公開

図-1 世界人口の見通し

出典：農林水産省、『平成28年度食料・農業・農村白書』、農林水産省、2017年、95ページ、図表1-3-4

非公開

図-2 我が国の農業総産出額・生産農業所得の推移

出典：農林水産省、『平成28年度食料・農業・農村白書』，農林水産省，2017年，57  
ページ，図表 特2-36

非公開

図-3 農山漁村地域への移住希望

出典：農林水産省、『平成28年度食料・農業・農村白書』，農林水産省，2017年，  
221ページ，図表3-1-7

# 平成 30 年度入学試験問題

## 小論文

### 農学部 地域農業工学科

#### 出題の意図

この小論文の出題の意図は、地域農業工学科で学ぼうとする受験生が、アドミッションポリシーに関連する食料・農業・環境についてどのくらい関心があるか、また、具体的な事案から問題を見つめ、問題解決について考える力があるかを、平成 28 年度食料・農業・農村白書からの図表をとりあげて、食料・農業・環境・エネルギーに関わる課題とその対応について論述させることで総合的に評価するものである。

#### 農学部地域農業工学科のアドミッション・ポリシー

農学分野の技術開発及び研究等を行う専門家として国内外で活躍することを志す、学習意欲と創造力のある次のような人を求めています。

- (1) 農業・農村の環境整備とそれらが発揮する多面的機能の維持管理に関心がある人
- (2) 農業生産から流通・加工に係わる食料システムの構築に興味がある人
- (3) 自然エネルギーを活用した循環型地域システムを考えたい人